

# モデル校に生駒・鹿ノ台中

省エネを徹底させ、使用するエネルギーを自らつくって賄うことを目指す文部科学省の「スーパーエコスクール実証事業」に、生駒市が指定された。市教委は、市立鹿ノ台中学校（生徒数234人）で今年度から3年間、施設を整備し環境教育に取り組む。

事業は地球温暖化防止などを目的に文科省が今年度導入。京都市や福島県矢吹町とともに全国3自治体が指定された。

生駒市は市内全20小・中学校を対象に検討。大きな改修をしなくても太陽光発電パネルなどを屋上に設置できる鹿ノ台中学校をモデル校に選んだ。

市教委によると、今年度は市教委と学校、生徒代表、地域住民、有識者らによるワークショ

## 施設整備し環境教育に

ップを実施して基本計画を策定。来年度、ワークショップを踏まえたエコ改修の基本設計と実施設計をし、2014年度にエコ改修の工事をする。事業費は数億円規模になる見込みで、太陽光発電や蓄電池などは国から2分の1が、その他のエコ改修工事などは3分の1が補助される。

太陽光発電などの再生エネルギーや省エネタイプの照明器具の導入だけでなく、窓や外壁の断熱化、採光や太陽光の遮断、通気、ごみ削減、雨水の利用、ゴーヤなどの栽培なども検討するという。市教委は「全国の学校のモデルになるような学校づくりをし、見学や研修などを通して市内の各校にも効果を波及させたい」としている。

朝日新聞  
12(H24)  
10.27